

### テニス・関東大学リーグ戦

# 男子19年ぶりに1部復帰



▲ 夏目の粘りが1部復帰を引き寄せた

入れ替え戦を振り返り、「ダブルスを全部勝ってシングルに臨みかけた」と語ったが、ダブルスは2勝1敗。しかも、シングルは2試合を残して1勝3敗と後がない状況に追い込まれた。ここで夏目脩平(経済)が4・浜松(高)が何度かマッチポイントを握られながらも、粘りを見せ、セットカウント2-1で勝利。応援のボルテージが最高潮に高まる中、最後は金城充(法4・南風原)が6-1、6-4でストレート勝ちし、ト

関東大学テニスリーグ戦が8月28日から9月13日まで、有明テニスの森テニスコートで行われた。男子は4勝1敗で2部1位となり、1部6位の日大との入れ替え戦(9月21日、日大テニスコート)にも勝利し、19年ぶりとなる1部復帰を果たした。来季は男子、女子そろって1部での戦いとなる。男子の岡洋一郎監督は



▲ ストレート勝ちで勝負を決めた金城

8月14日から27日まで、岐阜市の岐阜メモリアルセンターで行われた全日本学生選手権では、男子ダブルスで金城・夏目ペアがベスト8入りした。(曾雌達哉・文2、撮影・伊東)

### 相撲・東日本学生リーグ戦

## 圧勝で1部返り咲く 田中、福田、福山が敢闘賞

### 馬術・関東学生争覇戦 3位に入賞

関東学生馬術争覇戦が9月13日から15日まで、全日本学生選手権では、男子ダブルスで金城・夏目ペアがベスト8入りした。(曾雌達哉・文2、撮影・伊東)

9月14日、靖国神社相撲場で行われた東日本学生相撲リーグ戦で専大は7勝0敗で2部優勝。また10月6日、同会場で行われた1部・2部入れ替え戦では、中大に5-0という圧倒的強さで勝利し、2年ぶりの1部復帰を決めた。

リーグ戦は、3戦目まで7-0とストレート勝ちした専大が勢いはそのままに早大に6-1、慶大、法大に5-2と勝ち、2年ぶりの1部復帰を決めた。

最後の専大戦は無敗同士の優勝決定戦となったが、5-2で勝ち、2部を全勝で制した。入替え戦は、初戦から4戦連取すると、5番手の牧園真悟(商2・樟南)も送り出しで勝ち、一気に勝負を決めた。



▲ 敢闘賞の福田(撮影・林)

### 水泳・日本学生選手権

## 高久が個人メドレー2種目で入賞



▲ 高久が個人メドレー2種目で入賞

9月6日から8日まで、日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)が広島県広島市総合屋内プールで行われ、高久彩奈(高)が200メートル個人メドレーで7位(2分16秒46)、同400メートルでも8位(4分50秒20)に入賞した。

将(経営4・静内農高)は「他大学の馬に騎乗できて勉強になった。また、自分たちの馬を他大学の選手がどのように騎乗するのかわか、客観的に見て」と語った。今後の競技に生かしたい」と語った。(遠藤史崇・文2)

### フエンスング・安部が準優勝

9月19日、駒沢体育館屋内球技場で関東学生フエンスング新人戦が行われ、安部夏帆(商1・聖霊女子短大付高)が準優勝に輝いた。6月の学生王座決定戦という大舞台にも出場し、1年次生ながら多くの経験を積んでいる安部。予選プールを全勝で通過すると、2回戦、3回戦も快調に突破したが、決勝戦では相手の勢いに圧倒され、9-15で敗れ、優勝は逃した。

### 勝利に向け 課題を克服

アイスホッケー 大学アイスホッケー交流戦苦小牧大会(9月4日)を8位で終えた専大アイスホッケー部は、続く関東大学リーグ戦(9月15日開幕)では今季、ディビジョンIグループで戦うことになる。今度も厳しい試合は続く。勝利することの難しさを感じつつも、挑戦者として上位リーグで勝つことが何よりも実力向上につながる。吉報を期待し、今後の試合を注目していきたい。(西浦佑・ネット情報2 写真も)

### 19日に箱根駅伝予選会

第90回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月19日(土)、陸上自衛隊立川駐屯地(国営昭和記念公園、20は出場枠が3校増加。シ

ード権を獲得している10校に加え、予選会から13校が出場する。また、今大会は関東学生選手権の成績をタイムに換算する「関東インカレポイント」が採用されないため、各児を応援してほしい。

### 国際大会 出場選手

- サッカー部
- 福島 春樹(法2・静岡学園高) 第6回東アジア競技大会(9月30日~10月2日) 日本・東京、10月3~15日 中国・天津市 ※G.K.
- U-20日本代表。

徳をしのぶ「第41回森口メモリアルゴルフ大会」が9月10日、川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催された。大学関係者、卒業生ら57人が参加。小川透さんが優勝に輝いた。



▲ 右が優勝した小川さん